



【基本的着眼点】

単価の種類	患者当たりの単価・ベッド当たりの単価
病院全体で見えるもの	①平均単価の絶対水準 ②平均在院日数 ③主な内訳(基本料/手術処置料/投薬処方料 etc...)
科目毎に見るもの	④科目毎のシェア(収入/動態患者数/静態患者数) ⑤科目毎の単価水準/平均在院日数

【単価の構造要因】

①科目構成・科目別患者シェア	} 「患者構成/疾患構成」 =病院の「位置づけ」 *病院集患力/集患特性との相関強い
②科目毎の単価水準(特に主要科目) 疾患構成	
③手術発生確率 検査発生確率の差異	・戦略検討 ・事業計画上重要(科目毎まで把握)

【分析・評価のポイント】

①単価の絶対水準だけをもって評価するのは無意味 → やりたいこととマッチしているか?
②科目毎の比較分析が基本
③手術/主要検査との相関を正確に把握することも重要
④基本的には「粗利」ベースでの比較が重要>(今後の課題)